

2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ドラフト 上場取引所 東
 コード番号 5070 URL <https://draft.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山下 泰樹
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員 (氏名) 熊川 久貴 TEL 03-5412-1001
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	4,169	△17.8	△377	—	△394	—	△310	—
2021年12月期第3四半期	5,075	—	523	—	522	—	316	—

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 △303百万円 (—%) 2021年12月期第3四半期 317百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	△30.95	—
2021年12月期第3四半期	34.18	34.02

(注) 1. 当社は、2020年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、前第3四半期（2021年1月1日から2021年9月30日）と、比較対象となる2020年12月期第3四半期（2020年4月1日から2020年12月31日）の期間が異なるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2022年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	4,518	2,662	58.7
2021年12月期	5,840	3,009	51.4

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 2,650百万円 2021年12月期 3,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2022年12月期	—	0.00	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,340	△16.6	123	△87.1	113	△88.1	26	△95.6	2.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期3Q	10,038,800株	2021年12月期	10,036,800株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	ー株	2021年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期3Q	10,038,580株	2021年12月期3Q	9,251,748株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、徐々にアフターコロナを意識した行動様式、またこれを睨んだ各企業の経済活動が活発になりつつあるものの、急激な為替変動の影響もあり、依然として経済状況の安定化は難易度が高い状況が続いてきました。

かねてより従来にはない新しい空間のデザインを提供してきた当社グループにとって、コロナ禍による生活様式の変化、とりわけ人々が生活する場の在り方の変化、ならびに徐々にではあるものの行動制限解除に向けた社会の変容は事業においては追い風ではあるものの、コロナ禍ならびに為替変動を背景とする世の中の不安定な側面は企業活動及び業績動向へ少なからず影響することとなっています。

このような中、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,169,297千円（前年同期比82.1%）、これに連動して売上総利益については、1,218,439千円（前年同期比77.0%）に止まりました。

売上高については、第2四半期連結累計期間同様、引き合い自体は計画を上回り順調であったものの、第2四半期末におけるプロジェクトストックが第4四半期に偏重していたこともあり、当第3四半期連結累計期間が業務の完了時期となる案件の獲得が伸びませんでした。

営業利益につきましては377,150千円の損失（前年同期から900,366千円の減少）となりました。第2四半期連結累計期間までと同じく、当社グループの販売費及び一般管理費は四半期ごとの変動が少なく、四半期売上高が低い水準の場合には営業損失となる場合があります。売上高が低い水準となる一方、販売費及び一般管理費は、人員増、新しいライフスタイルブランド「DAFT about DRAFT」のフラッグシップショップオープン等、成長に向けた費用の増加のため、前年同期比150.7%となり、当第3四半期連結累計期間においては営業損失となりました。また、前連結会計年度は年間を通じてコロナ禍による企業活動の抑制が続き、販売費及び一般管理費が大幅に計画を下回りました。このため前連結会計年度の各四半期の営業利益は計画を上回る高い水準となっており、当第3四半期連結累計期間の営業利益との差が大きなものとなっております。同様に経常利益は394,097千円の損失（同916,174千円の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は310,739千円の損失（同626,977千円の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,518,250千円となり、前連結会計年度末と比較して1,322,156千円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が1,223,737千円減少したこと、売掛金が1,119,091千円減少したこと及び未収還付法人税等が192,961千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,855,405千円となり、前連結会計年度末と比較して975,428千円減少いたしました。これは、主に買掛金が791,614千円減少したこと、未払法人税等が338,906千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,662,845千円となり、前連結会計年度末と比較して346,728千円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失310,739千円を計上したこと及び配当金の支払い50,184千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは売上高の見通しを、プロジェクトストックの積み上がり、週平均引き合い額の動向、獲得率（引き合い案件のうち、実際に受注に至る案件の金額割合）の状況により判断しております。

オフィスを中心としたインテリアデザイン、建築デザインへの需要は引き続き堅調であり、当社グループの週平均引き合い額はほぼ計画通りに推移しておりますが、獲得率が当初想定の70%に及ばず60%台にとどまる見通しです。また第3 四半期以降に獲得した案件も来期以降のものが中心となっていることに加えて、売上計上予定時期が来期にずれ込む期ずれ案件も発生しております。この結果、本年10月27日に開示しましたとおり、売上高の通期業績予想を期初の予想から下方修正して8,340百万円といたしました。

なお、本年10月25日時点において、新たに獲得した案件、期ずれ案件など含めて、2023年12月期に売上計上予定のプロジェクトストックは約4,200百万円であり、これは前年同時期と比べて8%増となります。また、獲得率の低下を踏まえてプロジェクトストックに加える際の受注見込みの程度の精査を徹底しており、より確度の高いものとして算出しております。

前述のとおり引き合いは順調であることから、来期期初時点のプロジェクトストック（来期売上計上予定の案件／来期以降の売上計上予定の案件）確保の進捗には問題がないと考えております。

売上総利益につきましても、売上総利益率が期初の見通しに比べて若干低下するものと見込んでおります。加えて、第2 四半期決算短信他で計画についてお知らせしました東京地区オフィスの集約・移転については、当連結会計期間中に完了する可能性が高くなりました。当社グループのオフィスは、単なる執務スペースではなく、新しいデザインをクライアントに体感していただく空間を兼ねており、当社グループのブランディングの場となります。このため、自社オフィスの構築にはある程度の資金投下を行う計画であり、二重家賃・運送費・廃棄費用等業績予想に織り込んでいない費用計上額は販売費及び一般管理費で約130百万円、特別損失で約70百万円を見込んでおります。この結果、営業利益は123百万円、経常利益は113百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は26百万円となる見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176,965	953,228
売掛金	1,903,872	784,781
商品	33,310	71,014
原材料及び貯蔵品	4,764	62,365
仕掛品	97,928	155,925
販売用不動産	—	767,643
その他	91,361	502,550
流動資産合計	4,308,204	3,297,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	408,394	327,397
減価償却累計額	△143,233	△163,505
建物及び構築物 (純額)	265,161	163,892
土地	577,683	—
その他	153,590	181,796
減価償却累計額	△85,586	△101,096
その他 (純額)	68,003	80,700
有形固定資産合計	910,848	244,593
無形固定資産		
のれん	274,663	226,193
ソフトウェア	20,524	26,585
ソフトウェア仮勘定	—	31,416
無形固定資産合計	295,187	284,194
投資その他の資産		
敷金及び保証金	219,184	489,076
繰延税金資産	58,868	146,562
その他	48,114	56,313
投資その他の資産合計	326,167	691,952
固定資産合計	1,532,203	1,220,740
資産合計	5,840,407	4,518,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,281,452	489,838
短期借入金	50,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	141,802	163,296
前受金	32,065	—
未払法人税等	340,962	2,055
賞与引当金	42,973	44,398
工事損失引当金	—	6,766
完成工事補償引当金	8,000	3,000
その他	373,289	210,446
流動負債合計	2,270,544	1,069,800
固定負債		
長期借入金	555,100	778,456
その他	5,188	7,148
固定負債合計	560,288	785,604
負債合計	2,830,833	1,855,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	807,009	807,041
資本剰余金	787,009	787,041
利益剰余金	1,402,914	1,041,990
株主資本合計	2,996,933	2,636,074
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,741	14,135
その他の包括利益累計額合計	6,741	14,135
新株予約権	5,898	12,635
純資産合計	3,009,573	2,662,845
負債純資産合計	5,840,407	4,518,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	5,075,011	4,169,297
売上原価	3,493,305	2,950,857
売上総利益	1,581,705	1,218,439
販売費及び一般管理費	1,058,489	1,595,589
営業利益又は営業損失(△)	523,216	△377,150
営業外収益		
受取利息	17	21
受取手数料	7,632	120
保険解約返戻金	668	2,266
その他	226	758
営業外収益合計	8,545	3,166
営業外費用		
支払利息	8,798	10,138
為替差損	692	5,881
支払手数料	—	4,088
その他	193	5
営業外費用合計	9,684	20,113
経常利益又は経常損失(△)	522,076	△394,097
特別利益		
国庫補助金受贈益	1,996	—
特別利益合計	1,996	—
特別損失		
固定資産圧縮損	1,776	—
特別損失合計	1,776	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	522,297	△394,097
法人税、住民税及び事業税	212,805	4,336
法人税等調整額	△6,745	△87,694
法人税等合計	206,059	△83,357
四半期純利益又は四半期純損失(△)	316,237	△310,739
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	316,237	△310,739

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	316,237	△310,739
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,650	7,394
その他の包括利益合計	1,650	7,394
四半期包括利益	317,887	△303,345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,887	△303,345

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、デザイン事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。